

KiKiの広場

2012年 10月 1日

cafe NO.24
KiKi



9月で満2歳になった「ヒストリア字部」と「cafe KiKi」です。ジャスミンのつるも、今ではアーチの一番上まで伸びてきて、どこが入口かよくわからなかったオープン当時のことを思うと、これまでの日々の積み重ねをつくづく感じます。

急に朝晩寒くなったり、でも日中は暑かったり、9月末には大型台風がやってきたりと、一番気候の変化の激しい時かもしれません。どうぞみなさん、体調に気をつけられて、ヒストリアで催されるいろいろなイベントにぜひお越しください。もちろん、KiKiにも・・・スタッフ一同心よりお待ちしております。



10月の予定

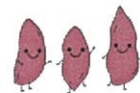
9日(火)

休館日



「今日のケーキ」・・・「さつまいもパイ」300円

国産の紅あずまを贅沢に使用し、素材の風味を活かしてしっとり焼き上げられた、秋にぴったりのパイです。

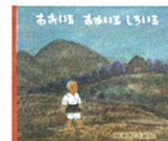


今月のお気に入り・・・「秋に読みたい絵本」

～ 「どんぐりぼうやのぼうけん」「あおい玉あかい玉しろい玉」「もいのなか」「さんまのおふだ」 などなど～



小人や妖精のお話を得意とするベスコフの「どんぐりぼうやのぼうけん」は、小さな仲間と共に秋の森の自然が生き生きと描かれています。よく見ると表紙の「どんぐりぼうや」の題字の濁点は、小さなどんぐりなんです。とてもかわいいですよ。「あおい玉あかい玉しろい玉」は、「さんまのおふだ」の話に似ていますが、とにかく太田大八さんの描くやまんばが不気味で迫力満点。怖さとお話の面白さにぐいぐい惹き込まれ、最後まではらはらどきどきする絵本です。



今月の本棚・・・「魔女・魔法の世界」

～ 「魔女からの手紙」「魔法のホウキ」「魔女図鑑」「まほうつかいのでし」「北の魔女ロウヒ」 などなど～



10月31日はハロウィン。ヨーロッパの収穫感謝祭が起源のようですが、最近日本でも楽しむようになってきました。ハロウィンと言えば魔女。絵本やお話の世界にもいろいろな魔女が出てきます。「魔女からの手紙」は、20人の画家（例えばディック・ブルーナ、五味太郎、スズキコージ、長新太、スーザン・バーレイなど）が自由に描いた魔女の絵に、後からそれぞれの魔女になりきってその絵にぴったりの手紙を書いた角野栄子さん。すごいです！「魔法のホウキ」は、オールズバーグの作品で、絵もセピア調のモノトーンで最初は怖いお話でどうなるんだろうと思っていたら、主役のホウキの仕草がなんとかわいくて、最後はずっと側にいてほしいと思うくらい愛おしくなります。「魔女図鑑－魔女になるための11のレッスン」は、魔女になりたい人にぜひおすすめの楽しい本です！



ほっとフレイク

嬉しい報告！！7月から産休中だったスタッフのUちゃんに、無事男の子が生まれました。ヒストリアの館長にとっては孫(^_^)、私たちにとっても甥っ子みたいなもの、新しい仲間みんな大感激！！初めてかけがえのない命・愛おしさに出会えた喜びは、言葉にならない感動だと思います。

今子育て奮闘中のUちゃん、いろいろ悩むことも多いでしょう。私もわが子が生まれた時、横で寝ている姿を見ては、息をしているだろうかと常にドキドキしていました。なかなかうまくいなくて切なくなることもいっぱいありますが、今思うとその一瞬一瞬が、やっとなれた親として宝物のような時間でした。



Uちゃんもきっと、わが子Iくんと一度きりの大切な時間を過ごしていることでしょう。抱っこできるのをとっても楽しみにしています。あれ？もしかしたら私にとっても館長と一緒に、孫？？？^^;